

# 令和4年度 第2回 習志野市いじめ問題対策連絡協議会 議事録

## 1 日 時

令和5年1月27日(金) 15時～16時30分

## 2 開催場所

習志野市役所3階 大会議室

## 3 出席者氏名

出席委員: 小熊隆委員(会長)、宮本泰介委員(副会長)、藤崎さちこ委員、庭野英雄委員、杉戸一寿委員(欠席、代理で田中由佳副所長出席)、鈴木美保委員、太田元幸委員、高橋勝委員、鈴木和弘委員、央重則委員、佐々木秀一委員、松濱幸子委員、五十嵐久仁委員、吉田昌之委員、植草洋子委員、加川美奈子委員、浅田和子委員、大崎栄貴委員、井上聡子委員、島本博幸委員、小平修委員、菅原優委員

(敬称略)(23名)

欠席委員: 前野美保委員、高橋君枝委員 2名 (敬称略)

出席職員: 蓮学校教育部次長、本間学校教育部副参事(指導課長事務取扱い)、近藤指導主事、小野指導主事、伊藤指導主事、河村指導主事

傍聴者 : 1名

## 4 協議会内容

開会

会長挨拶

① 会議録の作成と署名委員について

② 講演 「いじめを重大化させない『さしすせそ』」 ～子どもの援助希求力を育てるために～

③ 報告事項

報告 2学期いじめアンケートの結果と考察

④ その他

事務局より

閉会

## 5 議事録(要点筆記)

### 開会

事務局より、設置条例により会長、副会長は教育長、市長をもってあてることや協議会の目的等を説明する。

会長(教育長)あいさつ

会長(教育長)

25名中22名の出席。設置条例により委員の半数以上が出席のため、協議会が成立していることを伝える。

本会議は原則として公開することとしており、傍聴を許可している旨を説明し、了承を得る。

「習志野市審議会等の設置及び運営等に関する指針」に基づき、会議録を作成する。会議録署名人には五十嵐久仁委員と吉田昌之委員を指名する。

### 講演

会長

神田外語大学客員教授 嶋崎政男氏より講演を行うことを紹介する。

嶋崎氏

演題 「いじめを重大化させない『さしすせそ』 ～子どもの援助希求力を育てるために～  
(以下 主な内容)

・最悪を想って進める初期対応を進める。

(リスクマネジメント、クライシスマネジメント、ナレッジマネジメント)

・児童生徒の心理的事実の受け止めを行う。

・最悪を想って慎重に遂行 誠意をもって組織で対応する。

・誠意ある保護者連携を行う。

(保護者との信頼関係の確立「3R」(リスペクト、リレーション、リソースの活用)

・危機管理の組織マネジメントで大切なこと。

会長

嶋崎先生はこの後予定があるため退出する旨を伝える。(嶋崎氏は途中退出。)

### 報告事項

会長

報告「2学期いじめアンケートの結果と考察」について、事務局より報告を求める。

事務局

2学期いじめアンケートの結果と考察について事務局から報告する。

(以下、資料に沿って報告)

## 会長

松濱委員から浅田委員まで本日の感想、御意見、質問などをお願いする。

## 松濱委員

今日の研修は本当にいじめについて大人が気をつけなければいけない点が多くあったと思う。クラブ活動等で、体調を崩してお休みされるお子さんが多いと思うが、先生方の方でも気をつけていただきたい。体調が悪くてお休みした子に対して、温かく、先生方の方でも見守っていただきながら、フォローをしてほしい。

## 佐々木委員

今小・中学校がタブレットを配っていると思うが、タブレットの中で、相談アプリを活用しているとあったが、うまく活用できているのかどうか気になった。設問をこのアプリで使って、答えるようにすれば日常の気持ちを吸い上げられるのかなと思う。アプリの活用をお願いする。

## 央委員

2点ある。1点目は保護者へのきめ細かい接し方のこと。民間は営業上、相手に買ってもらうためにやることは当たり前だが、先生方は気にしないかもしれないが、こういうことが必要。今日の話現場の先生が聞かなきゃいけない。校長室や玄関の対応をどうするかということ。

もう1点目は、いじめの学期ごとの報告があったが、私がいつも気になってるのは、先生方の忙しさ、勤務過重にある。先生方も非常にこの厳しい状況の中で果たして対応ができるのか。こういうことを考えないで、こういうことやる、こういうことしたと言っても、本当に実態があって言っているのかと思う。先生方の勤務実態を測って、やってもらいたいと思う。

## 鈴木和弘委員

先ほど央委員から話があったリスペクト10項目は、学校でも会社の中でも、同じようなことだと考えた。それともう1点。このアンケート結果は児童生徒に学校内でとったアンケートだと思う。対して、近隣の住民から学校以外でいじめについて見たなどの通報などがあるかわかればと思う。

## 高橋勝委員

心理的事実と客観的事実のところ非常に私も感銘を受けた。心理的事実の中で人を思いやり、客観的事実を共有するという形が非常に大事だなと思った。参考4のリスペクトのところは、私達、商業者からすれば本当に当然であると思う。もう一度考えていき、お互いを思いやることができればいい。

#### 太田委員

いろんな事例を踏まえた上で、僕らの時とかなり違うなと改めて認識する。我が町会のことを話すと、次年度から子供会がなくなること。父兄が役員をできず、共働きということもあるかもしれないが、初めて、こういう場面にぶつかっている。

#### 鈴木美保委員

やはり大人側の対応が大きく求められる。今日の講義の内容については、私達にもそのまま当てはまるなと思った。特にナレッジマネジメントについて、嶋崎先生の方も大変強調されていた。児童虐待の方でも死亡事例というのが過去に何件もあって、その答申等をもって、私たちも反省をし、課題からまた新しい施策と見直し等がある。それらを本当に重く受けとめて働いていかなければならない。また、後半のいじめアンケートについて、1学期といじめの内容は3学期になって、それがどんな変化をしていくのか、学期が進むにあたって、いじめの内容に変化があるのかなと、いじめの変化の見立て等があるのであれば今後ぜひ聞きたいと感じた。

#### 田中委員(代理)

ナレッジマネジメントを心に銘じていきたいと思った。安全配慮義務や労働災害のあたりでも、とても重要なことになる。授業をしっかりやっていく、子供たちのコミュニケーション力を上げていくという考えが良かった。周知してほしい。

#### 庭野委員

嶋崎講師の方から配られた資料の参考3、時間の都合上ご紹介がなかったが、6番目に警察との連携支援要請という記載がある。警察とも連携支援要請を遠慮なく実施してほしい。警察署の敷居が高いということであれば、幸い習志野市には習志野地区少年センターというのがある。そちらに連携支援要請をしてほしい。

#### 藤崎委員

現在はやっぱり環境や社会が変わって、いじめをゼロにするのはなかなか難しいかと思う。そうなると、重大事態にならないために最善を尽くさなければならない。いじめの問題については子供が主体であるということを考えなくてはならない。大人の都合で事実を曲げてしまうようなことは絶対にしてはいけないと感じた。学校と教育委員会が、子供たちに一生懸命接し、いじめを重大事態にしない。教員が時間を費やすことが大切だと嶋崎先生も言っていた。教員の過重労働も改善することが必要だと思った。

#### 五十嵐委員

コロナ禍で、学校生活、子供達の人間関係は変化が出ていると思う。その中で以前とどう変わったのか、いじめが減ったのが増えたのか、或いは違う切り口のいじめのポイントが現れたのか。社会教育関係でもコロナになってから社会教育、特に中学校、小学校、児童に対する活動ができない状態である。コロナ前後でいじめの件数、内容の分析や考察がつながった感じの数字が見えてくれば、つながりが見えてくるのではないかと思う。次回はそういう資料をいただくと、参考になるのかなと感じました。

#### 吉田委員

私も民間で仕事をして、当然お客様に対してリスペクトをするという話があったが、これはお互い様だと思う。保護者の方が、良い教育環境を提供してもらうのであれば、やっぱり学校ともいい関係を築くというのは必要なことだと思う。そういうことをPTAとして取り組んでいければなと感じた。先生方の負担が多い中で、いじめ問題に取り組むのも大変だと思う。対策を行うのは、市長はじめ教育長、行政の方の仕事かと思うので、その点をお願いしたい。

#### 植草委員

心理的事実は、学校の先生だけではなく、家庭でも大切だと思う。保護者の立場の時代に、こちらの会議に参加させていただくようになり習志野市の教育の現状、いじめ対策を知って、母子保健推進委員という立場から何かできるのではと考えるようになった。小さいうちから、親子のきずなをしっかり作り、話しやすい家庭が築けるよう、これからの訪問の際、伝えていきたいと思う。

#### 加川委員

今日の話を知って、先生方は大変忙しい思いをして、人づくりという非常に重い役を担っていると思う。今若い先生方が多い。教育は人づくりじゃないかなと、本当に先生方を応援したいなという気持ちがいっぱいである。子供会がなくなって、大変だというお話を伺ったが、子供たちの感想を聞くと、楽しかったとか、ちょっとしたことでも発見して、子供たちはすばらしいなと思う。

子供たちのさよならの笑顔が私たちの一番の励みになる。ありがとうや感謝は、一番子供に必要じゃないかと思う。明るく、子供たちの笑顔を楽しみにしていきたい。

#### 浅田委員

今日のお話は本当に最もだと思う。自分が小さい頃に、嫌なことがあっても家に帰って、食事をして、何かを忘れるとか、あったかいお風呂に入って、親に何か一言、二言言われて、また明日学校に行くかみたいところで過ごしていた。学校教育は、いろんなことがわかって、やってきた部分もある。親御さん自身も、孤立して、わからないことが多いとか、悩みながら手探りの中で子育てしていると思う。もう少し学校教育と繋がれば、違うのかなと考える。私は今、人権擁護委員として、自分ができることは授業かな、人権教室かなと、何かできることがあるかなと思う。

## 会長

校長先生それから行政の職員の方で、質問があるか伺う。最後に副会長である宮本市長に挨拶をお願いします。

## 副会長(市長)

本日も大変貴重な、お時間をいただき、感謝申し上げます。現在は多様化の時代にあり、いじめにしても、どの問題にしても、お互い議論を深めていくことが、いろんな分野で行われている。一方で、多様化で、豊かになった中で、個人がいろいろな判断を自分でできるようになった。何が正解で何が正解でないのかが非常に慎重に見ないといけない。

昨日、一昨日のニュースで印象に残ったものは、児童相談所の人員を拡大しようとして、募集したが、定員を大幅に下回る受験率だったということ。学校の先生も同じような状況であると伺っている。

いじめ問題対策においては、本市でも重大事態があり、いじめの認知件数が増えてくれば、それに伴ってくる。この対策連絡協議の中で、皆さんのそれぞれの知見をそれぞれ交換しながら、丁寧に対応していくものだと感じている。引き続き、皆様方のお力添えをいただきたい。

市長会の中では、5月8日から感染症が5類になる中で、マスク着用に関して、またいじめなどが起きてしまう心配も含めて対策する必要がある。これから先、誰も経験しなかったアフターコロナに進んでいく。

習志野市は、本日もご出席の人数で、習志野市のすべてのことを協議できるコンパクトが特長。是非、今後とも皆様方の知見をお寄せいただき、問題を一緒に乗り越えていただくようお願いして、挨拶とする。

## 会長

皆様貴重なご意見いただき感謝申し上げます。この会議は、様々なお立場の方にご参加いただいて、特に学校教育のことについてご意見をいただき、非常にありがたい。もう一度いろんな取り組みを見直せると考えている。教育委員会としては、いじめの問題に関しては、まずは教育相談をしっかりと充実させなければいけないと考えている。今まで以上に進んでいると、相談について思う。本日の講義にもあった通り、さらに良好な人間関係づくりについても、手を入れていかないと、教育相談も活かされないと感じた。

今日いただいた意見を活かして習志野市教育行政の発展に努めていきたい。皆様のご協力により、本協議会がスムーズに進行できましたことにつきまして、心より御礼を申し上げます。事務局よりその他、事務連絡をお願いします。

**事務局**

いただいた御意見、御提言にあつては、今後の、教育行政にしっかりと反映できるよう努めていく。今後とも、引き続きの御指導、御鞭撻を賜りますようお願いしたい。

**会長**

今日の内容については、所属各団体で周知をお願いする。以上をもって令和4年度第2回習志野市いじめ問題対策連絡協議会を終了する。

閉会

6 所管課名

教育委員会学校教育部 指導課

電話番号 047-451-1132

FAX 番号 047-452-0786

議事録署名人 吉田 昌之

議事録署名人 五十嵐 久仁

